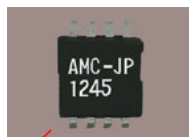


3. 部材基板

コンピュータ用の基板をベースに、LED 制御を行う特殊 IC を独自に開発し実装している。これにより電圧電流コントロールが可能で単三一本で明るい。

違いのポイント

- ①基板の材質（プラ基板 vs ベーク）
- ②製造工程（自動加工 v s 手づけ）
- ③設計デザイン（品質重視 vs 価格）
- ④構成部材（専用部品 vs 汎用）



4. 操作性

LED 電圧・電流制御用の特殊な IC を開発したことにより、単三一本で長時間 (50 時間以上) 連続して使用でき、緊急時発信のフラッシュリング機能も付いている。電池交換はワンタッチで電池ホルダーをオープンでき取替は簡単



5. 保証

生産工程は自動化され人手を介する工程が少ない。LED、スイッチ、基板など耐用年数は高く（10 年超）半永久的に使用できる。

MyLight

意匠登録済

日本 実用新案 第 3171303 号

台湾 専利登書 第 M442441 号

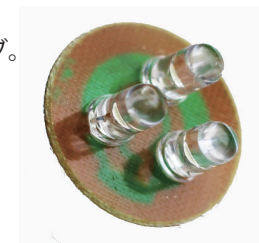
手作業加工で不安定ない取付



薄いベーク状基板に部品直付けが多い。スイッチなど手ハンダ箇所も多く故障の確率は高くなる。加工コストの低減化は計れる



電池 3 本で LED をダイレクト・ドライブ。
4.5V 供給のため電池 3 本を必要とする。



単三電池 3 本

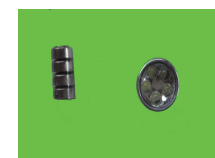


乾電池一本で LED を制御することは難しいため、通常は電池 2 本 (3V) あるいは 3 本 (4.5V) が多い。小型形状や特殊なスタイルを作るためにボタン型電池を 3 から 4 個使用するものが多い。電池交換が不便あるいは困難なネジ締め製品も見受けられる

ボタン電池 3 個を
ケースに入れる



ボタン電池 3 個



単四 3 本



耐用年数、耐用回数に劣るものが見受けられる。一見アピール性が高い（価格を含めて）が、真の実用性から考え疑問の残る製品も多い